

円の手ざわりはつるつるかざらざらか 山本聖子 展

PARC:Creator Support Project #03 Yamamoto Seiko Exhibition

2012年11月24日[土] - 12月9日[日] 11:00~19:00

山本聖子は2006年に京都造形芸術大学大学院を修了後、京都と東京での個展開催の他、国際芸術センター青森でのレジデンス(2010)、VOCA展出品(2011)のほか、六甲ミーツ・アート芸術散歩2011にて公募大賞受賞、東京ミッドタウンプログラム:ストリートミュージアムにてアートコンペ・グランプリを受賞するなど、広く注目を集めています。

とりわけ、不動産の挟み込みチラシにある「間取り図」の線画部分を丁寧に切り取り、ラミネートパウチした後に再度切り抜いて出来る無数のパーツを集積し、平面・立体へと構成する一連の作品は、これまでに高い評価を得ています。

この「間取り図」作品は、有機的な人の営みを内包するはずの「間取り図」を連結・反復されることで、そこに無機的な世界の姿を垣間見せるかのようで、観念と視覚に歪みの生じる視覚体験をもたらします。また、「間取り図」が必然的に持つ直線からなる構成には、どこか有機的な美しさをあわせ見ることができるもので、まるで「図」がタテとヨコの幾何学的な「線」へと還元される寸前の姿をあわせ見るようです。

幼ない頃からニュータウンで育った山本は、内側(プライベート)を感じさせない均質な間取りの集合・都市の姿を原風景に持ち、その機能性・合理性優位な街に暮らすなかで、自身の感覚機能の衰えに焦燥感を感じずにはいられなかったといいます。「間取り図」の作品は、その無機的な記号から更に情報や意味を切り落とし、線の反復による規則的な形へと還元した果てに、なおも物質としての存在感や気配を見いだす一連のプロセスにより、世界の認識:自身の存在を確認する行為であったといえるかもしれません。

本展は山本聖子がこれまで一貫して見据えようとしている「幾何学的なかたち」の存在に焦点をあてながら、間取り図作品や写真作品を組み込んだインスタレーションとして構成されています。

会場に構成されたそれぞれの物質・距離・変化・イメージは、何かを再構築するように、何かを解体するように、あるいは何かを創造するかのよう、そして、ただの景色のように存在します。それは「視点・色・かたち・距離・内と外・高さ・低さ・向こうとこっち」というように、ひとつの物質や世界に対する複数の視点の在り方を、丁寧に確認する行為を必要とするのかもしれません。

知らない土地の街並や、久しぶりに帰った土地の風景を見やるように、様々な視点でこの景色を眺めていただければ幸いです。



山本 聖子 / YAMAMOTO, Seiko

<http://seikoyamamoto.web.fc2.com/>

1981 京都府生まれ

2006 京都造形芸術大学大学院芸術研究科修了

2004 大阪芸術大学芸術学部美術学科 卒業

個展

- 2012 細かいことは気にせずに、ただそこに在るものを見つめてほしいのだ (中ノ島4117内ポストギャラリー / 大阪)
- 2010 空白な場所 新世代の視点2010:画廊からの発言 (コバヤシ画廊企画室 / 東京)
- 2009 空の風景(コバヤシ画廊 / 東京)
- 2006 私とあなたは同時にそれを見た(ギャラリー16 / 京都)

グループ展

- 2012 二次元と三次元のはざま (ARTZONE / 京都)
 - 東京ミッドタウンプログラム ストリートミュージアム (東京ミッドタウン内 / 東京)
 - 日常の冒険—現代の若手作家たち— (札幌大通駅地下ギャラリー—500m美術館 / 北海道)
 - 六甲ミーツ・アート芸術散歩2012 (六甲高山植物園 / 兵庫)
 - 第1回コンテンポラリーアートハラバ国際会議関連企画展覧会「空虚と風景」 (ベラルクス州立大学付属APギャラリー / ハラバ、メキシコ)
- 2011 VOCA2011 展 (上野の森美術館 / 東京)
 - 六甲ミーツ・アート芸術散歩2011 (六甲高山植物園 / 兵庫)
 - Tokyo Midtown Award 2011 (東京ミッドタウン / 東京)
 - 多摩美術大学芸術研究科展覧会設計ゼミ企画『Drop me』 (似て非works / 横浜)
 - Message 展 (コバヤシ画廊 / 東京)
- 2010 吃驚 (国際芸術センター青森 / 青森)
 - Message 展 (コバヤシ画廊 / 東京)
- 2009 Message 展 (コバヤシ画廊 / 東京)
 - Polyphonic. (KCPF ギャラリー / 韓国・ソウル)
- 2007 Xhibition 展 (ギャラリーRAKU / 京都)
- 2006 京都造形芸術大学卒業制作展 (京都市美術館 / 京都)
 - 第二回 P & E 展 (アートコートギャラリー / 大阪)
- 2005 第一回 P & E 展 (アートコートギャラリー / 大阪)
 - 2人展「指先を待つ」オープンスタジオ (京都造形芸術大学内 / 京都)
- 2004 大阪芸術大学卒業制作選抜展
- 2003 羽翫展 (大阪芸術大学内 / 大阪)

受賞

- 2011 六甲ミーツ・アート芸術散歩2011 公募大賞
 - Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ グランプリ
- 2004 学長賞 (大阪芸術大学卒業制作展)

レジデンス

2010.9~11 国際芸術センター青森 秋AIR プログラム

Gallery P A R C
GRAND MARBLE

<http://www.galleryparc.com>